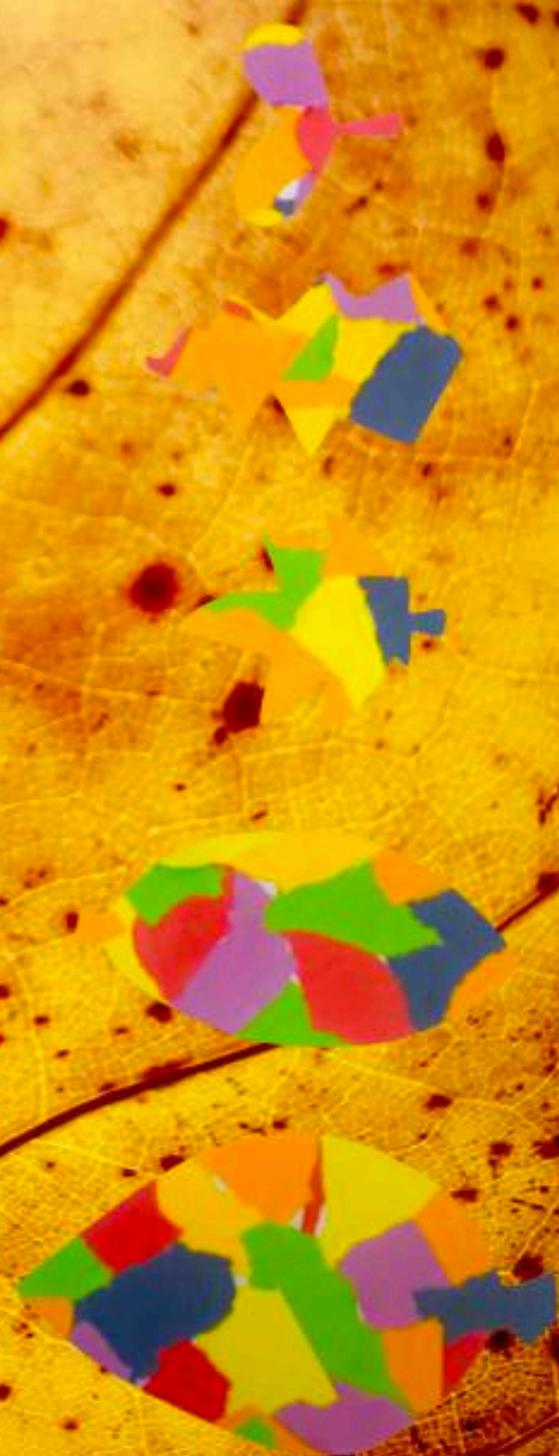




千葉明德短期大学 MAGAZINE 『月歩学歩』 2018年10月号

わくわくしました
自分以外の人々に
会いました
学びました
自分についても
何かを伝えたくて



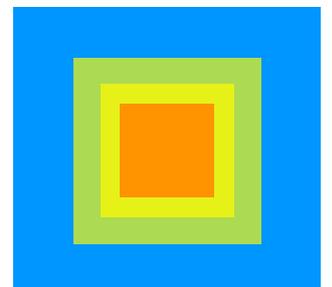


10月号の内容

わくわく特集

❖ スペイン (田中)	3
❖ 映画 (大村)	6
❖ 東北 (金子)	7
❖ 利賀村 (由田)	10
❖ カンボジア (伊藤)	12
❖ 富士山 (石井)	14
❖ お話ライブ (高森)	16
❖ ネパール (鶴田)	17
❖ 皆の思い出いろいろ	18
❖ 明石先生リサイタルのお知らせ	19
❖ 学事日程	

■ 編集
深谷ベルタ、久保瑤子



スペイン

明石 現

田中 葵

概要

スペイン北部・カンタブリア州都サンタンデルを訪れる。音楽院学生の家へのホームステイや共同コンサート、現地の保育所や障害者施設への訪問等を通して、スペインの文化に触れ、自身の価値観を見直す。

日にち	内容
9/7	8:50 羽田発⇒13:10イギリス・ヒースロー空港着 15:50発⇒18:50スペイン・ビルバオ空港着
9/8	船旅、Centro Botin見学
9/9	Magdalena宮殿見学、ファミリーデー
9/10	環境ワークショップ、フラメンコ鑑賞
9/11	コミージャス訪問、Mazcuerras村でコンサート
9/12	障がい者施設訪問、カホンワークショップ
9/13	保育園訪問、学内コンサート
9/14	12:05 スペイン・ビルバオ発⇒13:00 イギリス・ヒースロー着 15:45発⇒11:15 成田着

○学生の学び・感想

食事の時、日本の食卓では全員の食事揃ってから手を合わせて「いただきます」と言い食事を始めますが、スペインでは準備のできた人から各自食べ始めます。日本の「いただきます」に変わる儀式も特にないので、私が「いただきます」をしたら、「それは何？」と聞かれました。私が、日本では料理を作ってくれた人、食材と作ってくれた人、人間が食べることで犠牲になった動物や魚に感謝の意味を込めて「いただきます」と説明しました。向こうの家族は「素晴らしい」と言ってくれ、その後、食後の「ごちそうさまでした」を手を合わせて一緒にしました。私は、海外の人にそう褒めてもらえたことで、「いただきます」「ごちそうさま」はとてもいい日本の文化だと思えることができました。 渡邊美南

スペイン人は会ったらまずハグをし、両頬にキスをするような仕草をします。スキンシップをとることで、必然的に人との距離が近くなるだけでなく、気持ちも近くなるように感じました。そのような文化で育っていない私は、始め、ハグすることに少し戸惑いました。（ホームステイ先の学生）Sofiaはハグをする習慣を「Spain Style」、私の困惑している姿を「Japanese Style」と言い、「仲良くなるためにSpain Styleを身につけてね!」と言いました。戸惑うのではなく、挨拶の文化だと思えるようになってからは抵抗感はなくなりました。文化の違いを受け入れることは、その国の人たちと仲良くなるために大切なことだと思いました。 室井奈津美



思い出の 写真色々



映画を 楽しもう

大村 あかね

概要

「長編映画を観る」という体験をするコースです。フィールドワークではありますが、外へ出かけるのは最後の1回で、基本は教室のスクリーンで鑑賞します。事前学習と、事後の語り合いの時間も大切にしています。観た作品は、あらすじや感想、私の名シーンの紹介など、オリジナルのファイルを作ります。

日にち	テーマ	鑑賞した作品
6/2 (土)	映画表現を味わう	「少年と自転車」 タルデンヌ兄弟 2011年
7/14 (土)	映画を通して見る社会	「BOY A」 ジョン・クローリー 2007年
8/5 (日)	自主上映会の企画・運営 (大村ゼミと合同)	「さとにきたらええやん」 重江良樹 2016年
9/14 (金)	戦争映画の描かれ方の多様さ①	「野火」 塚本晋也 2015年
9/18 (火)	戦争映画の描かれ方の多様さ②	「この世界の片隅に」 片淵須直 2016年
10/20 (土)	SF映画が伝えているもの	未定
12/1 (土)	劇場へ行こう！	未定

学生の学びと感想

「少年と自転車」を観て
 どうしたらいいのかわからないモヤモヤ。感情をどこにぶつけていいのかわからなくて自分が嫌になる。そんな気持ちが伝わってきました。シリルが自分の身近な人と重なって、とても気持ちが苦しくなりました。あるきっかけから出逢った女性、サマンサに週末だけ里親になってほしいと頼み込み、そこから一緒に父親を探していく2人の関係が変わって行くところが、とても心奪われました。

「誰かに愛され、誰かを愛す」ということがどんなことなのか。それを考えさせられました。

秋葉麗奈

「BOY A」を観て
 社会に出ていくことが楽しみ。しかしその裏に不安がある。社会は自分をどう受け止めてくれるだろう。上手くやっていけるだろうか。そんな気持ち

ちの中、第二の人生を歩んで行く。仕事も恋愛も人間関係も何もかも上手くいっていたのに、あることから人生が崩れていく。ずっと今まで頑張ってきたものを崩され、もう涙が止まりませんでした。できることなら、「ここまでよく頑張ったね」と抱きしめてあげたいと思いました。 秋葉麗奈

「野火」を観て

野火は大岡昇平原作、塚本晋也監督・主演で、第二次世界大戦末期のフィリピンレイテ島が、舞台の映画です。戦争映画と聞いて正直あまり見たくありませんでした。

見終わって私が感じたことは、戦争の虚しさです。極限状態の兵士たちはやはり普通ではない行動を取っていました。人をそんな状態に変えてしまう戦争に恐ろしさも感じました。 小松裕子

「この世界の片隅に」を観て

この映画が話題になった理由がわかった気がしました。繊細な描写に、主人公の心象風景が美しく描かれていて作品の世界に引き込まれました。主人公すずが時折見せる、涙や怒りはとても人間味があって素敵だと思いました。日常の中にじわじわと迫ってくる戦争の影響。その中でも明るくたくましく生きる主人公たちの姿に、自分のちっぽけさを感じました。ただただ見てほしい。そんな気持ちです。

小松裕子

○東北スタディツアーを終えて

2020年のオリンピックを「復興五輪」と言っていますが、私には、「復興」と「五輪」がどう結びつくのか分かりません。オリンピックの開催が復興の証のようにすり替えられてしまうことの怖さを感じます。そのためにも、現地を自分の目や耳で見聞することが大切なのだと改めて感じました。

東北 金子重紀

日にち	時間	場所	内容
8/13 (月)	8時	千葉駅	出発
	13時	南相馬市	道の駅・「南相馬」到着
	14~17時	福島第一原発から20キロ圏内	被災地フクシマの旅実行委員会の方による『20キロ圏内ツアー』
	18時	南相馬	農家民宿「森のふるさと」一泊
8/14 (火)	9時	小高町・浪江町	JR小高駅、浪江駅周辺の見聞
	13~16時	飯館村	飯館村議員・農業経営、佐藤八郎さんによる現地案内
	18時	飯館村	『宿泊体験館・きこり』一泊
8/15 (水)	9時		南相馬へ出発
	10~12時	南相馬市	「あすびと福島」でソーラー発電、再エネ見学
	14~16時	いわき市	浜通り医療生協・工藤文雄さんのお話しと三日間の感想・まとめ
	20時	千葉駅	到着

学生の学び・感想

東日本大震災から7年、福島 of 素敵なところをたくさん感じる事が出来ました。しかし、私の記憶に鮮明に残っているのは震災直後から変わらぬ津波の爪痕、入ることの出来ない住宅街…。まだこのときに感じた気持ちはまとまってはいません、もしかしたらずっとまとまらないかもしれません。実際に行ってその場で感じたものが全てが私にとっての学びになりました。

安藤優真

1日目、車で原子力発電第1原発から20キロ圏内をガイドさんも一緒に乗って説明していただきながらまわりました。その中でも1番印象に残っているのがこの写真です。ここは帰宅困難区域です。帰宅困難区域では車で通行は出来ませんが、車から降りることは許されていません。そのような危険な場所で警備を担当しているのは、福島の民間の方です。「原発は安全だ」と謳った国の方達は、いざこういう事故が起きると責任

は取ってくれないと現地の方はおっしゃっていました。国が始めた事なのに、危険な作業はなぜ国民なのか、とても不思議でたまりません。この他にも、復興復興と言っていますが、出来ていないのが現状です。行ってみないと分からないことが沢山あり、私達は何事もなく生活していますが、まだまだ困難な生活をしている人達が沢山いるということを感じました。東北に足を運んでください。この状況を自分の目で見てください。言葉では表せない感情になりました。

鷺津有紗

1日目の夜は民宿に泊まりました。そこには小学生の男の子が2人いて一緒にご飯を食べたり、朝早く起きてお散歩や宿題をして楽しい思い出になりました。

河野愛里

フレコンバックという放射能を含んでいる土などが入った袋が至る所にあり、驚きました。

石坂南実





利賀村 由田 新

生活と文化を考える～富山県利賀村研修

概要

富山県の山の中で約1週間の村の暮らし体験を行います。コンビニをはじめ都会的なものは一切ありませんが、村の方々の暖かい気持ちはいっぱいあります。人と人のつながりが濃く残る地域での生活を通して、自分たち自身の暮らしを見つめ直したいと思います。

日にち	内容
9/9(日)	移動（千葉→富山→利賀村）
9/10(月)	保育園にて保育参加／農業体験
9/11(火)	保育園にて保育参加／岩魚つかみ取り／山のごちそう
9/12(水)	保育園にて保育参加／菅沼合掌集落(世界遺産)見学／紙すき体験
9/13(木)	保育園にて保育参加／農業体験
9/14(金)	保育園にて保育参加／食体験
9/15(土)	そば打ち体験／わら細工・民謡体験
9/16(日)	移動（利賀村→富山→千葉）

学生の学び・感想

村の方に教えていただきながらの初めての民謡体験!!!短い時間だけどいい運動量伝承され続ける民謡を実際にやってみて難しさを感じるとともにとても貴重な体験であったと感じます。

伊藤元気

富山に着いてから天気はあまり良くなかったですが、移動中に雨がやんだので、外に出て自然を見ながらかけこをしました。

林春美

『イワナの握り寿司』。川の魚だとは思えないくらい美味でした。一生のうちにもう一度食べたいです。

今井美香

学生の学び・感想

周囲見渡しても緑一面なところで1週間過ごしました。利賀村に向かっている時、雲が下にあって、不思議な感じでした。また、民宿に泊まった時では、幻と言われるカレーを作っていただきました。前はお店を出していたそうですが、

今はお店はもうなく、この民宿に泊まって「カレーが食べたいです」と言わない限り食べることのできない幻のカレーだそうです。とても美味しかったです。

神田菜穂美

美

7泊8日色んなことがありましたが、紙漉き、そば打ち、岩魚のつかみどりなどたくさん体験でき、楽しかったです。ありがとう、長谷屋さん！またいつか。

齋藤若奈





カンボジア

伊藤 恵里子

カンボジアの子どもたちの暮らし

概要

カンボジアでは、多くの人が1日2ドル（約200円）以下での生活という絶対的貧困状況の中で暮らしています。このような状況にあるカンボジアの首都プノンペンの児童養護施設や障害者自立センター、貧困地域の幼稚園・小学校を訪問し、子どもたちと触れ合います。また、カンボジアは40年ほど前に、同じ国民同士が戦争を行い、国民の約5分の1が政府によって虐殺された国です。この研修は、そうした歴史を振り返る旅でもあります。

	日にち	内容
9/6 (木)	8:30	成田空港集合
	10:50	成田空港発
	15:10	プノンペン着
9/7 (金)	AM	クローサートマイ (児童養護施設)
	PM	Ai Center (貧困地域の小学校)
9/8 (土)	AM	PPCIL (障害者自立支援センター)
	夜	プノンペン大学の学生と交流
9/9 (日)	AM	キリングフィールド
	PM	トゥールスレン
9/10 (月)	AM	HOME OF HOPE (児童養護施設)
	夜	サッカー観戦
9/11 (火)	AM	SCADP (貧困地域の幼稚園・小学校)
	PM	PPCILの作業所見学
	夜	ふりかえり
9/12 (水)	終日	市内観光など
	22:50	プノンペン発
9/13 (木)	7:45	成田空港着

学生の感想・学び

● (児童養護施設を訪ねて) バレーボールで熱戦を繰り広げていたり、虫を見せにきて反応を楽しんだり、どこにでもいる普通の少年少女なんだなと思いました。輪になって遊んでいたとき、必死にいろいろな遊びを考えながら遊びを進行してくれた女の子には感謝しかありません。クメール語であいさつと自分の名前しか言えない私たちに対し、一生

懸命遊びのルールを伝えてくれて、少し申し訳なかったです。もう少しクメール語を勉強すべきだったと思いました。バスに乗り込んで帰るとき、車が見えなくなる最後の最後まで手を降り続けてくれた子どもたちの姿が印象に残っています。押し付けがましいかもしれないけれど、私にとって大切な思い出になったのと同じように彼らにとってもそうになっていたら嬉しいです。 2年 小松 裕子

●（障害者自立生活センターにて）ワクチンがないから障害者になったという方のお話を聞いて、ワクチンひとつでもあれば一人の方の人生が大きく左右されるのだなと感じました。（中略）ワクチンがないために障害者になった方にお会いできて、助かった人ばかりではなく、障害者として生活している方がいるということを知って切なくなり、人間一人ができることって本当に限られているなと改めて無力さを感じました。支援によって助かった子どもたちがいるのも事実ですが、その支援をできたことに満足してはいけなくて、ワクチンがなかったことで助からなかった方もいるということ、そういった方がどんな生活をしていて、どんな風に生きていて、どう感じているのかお話を伺ったり、実際に部屋を見せていただいたり、とても貴重な経験をさせていただきました。

2年 森 穂乃佳

●（虐殺の歴史を振り返るなかで）ポルポトも最初は、国を変えたい、平等な社会にしたいという思いで政治をしていて、人々のことを思っていたのに大量虐殺を行ってしまった。最初は良いことをしようとしていたからこそそんなことをするとは誰も予想ができないし、だからこそ本当に怖いと感じました。良いことをしようとしていても力の使い方を間違えるだけでこのようなことが起きてしまう。だからこそ、私たちはそのようなことが起きないようにこの歴史を伝えていく必要があると感じたし、政治にしっかり参加して、今自分の置かれている状況や、どのように政治が動いているのかをしっかりと見て、独裁的な政治が起きないように、戦争やこのような虐殺、無駄な争いが起きないようにしなければならぬと思いました。2年 篠塚 真由子



富士山 石井 章仁

富士山の頂から観る ～登山と自然、自分自身を考える～

概要

わくわくの富士山では、筑波山や陣馬山で練習をし、本番の富士山登頂に臨みました。参加者は、科目履修者が4名のほか、科目は履修できなかったが自主的に参加した学生が2名いました。行程は以下の通りです。何名か、高山病になりかけた者もいました。しかし何より、口惜しかったのが、風雨で登頂を途中で断念せざるを得なかったことです。

活動内容

- ①筑波山 (6/2)
- ②陣馬山～高尾山(7/14)
- ③富士山：山梨県旧吉田古道ルート (1～5合目) および吉田ルート (5合目以降) (9/5-7)

時間	行程
5日 8:20 8:30-10:20 11:00-17:00 17:00 19:00/21:00	新宿バスターミナル集合 新宿-富士山駅 (高速バス) 到着後、中野茶屋までタクシーで行き、旧吉田ルートを通って、富士山五合目佐藤小屋を目指した。 五合目佐藤小屋着 夕食 就寝
6日 7:00 9:30-16:00 16:00 18:00/19:00	朝食 五合目～本八合目トモエ館へ *休憩や昼食をとりながらゆっくり、本八合目を目指した。 トモエ館着 夕食後、翌日に備え就寝
7日 2:30 7:30 11:00頃 13:00	出発予定時刻だったが、風雨が強く様子を見る 風雨が収まらず、他の登山者も下山をしたので、下山を開始した。 五合目着 新宿へバスで帰路に就く

学生の感想・学び

8合目の宿舎では高山特有の頭痛と吐き気の中、寝ることが出来ませんでした。いざ日の出を見ようと頂上へ行こうとし扉を開けると雨と風で目の前が真っ白でした。頂上へ行くのは危険と判断し、悪天候の中注意して下山

するということとても悔しい形で終わってしまいました。いつかリベンジし頂上へ行きたいと思います。
丸山晃希

1泊目の5合目は1合目よりもだいぶ気温が下がり寒かったのですが、山小屋の夕飯で食べた鍋は生きてきた中で1番美味しかったです。みんなおかわりすぎて炊飯器をからっぽにしました。山小屋の方や宿泊者の方と交流できたことも楽しかった思い出の1つです。 工藤綾華

標高が高くなるにつれてどんどん酸素が薄くなり、疲れやすくなるので、1日目に樹海で拾った大きくて太い枝を杖にして登りました。これが無かったら登るのがきつかったくらい大切な存在でした。 堀内美里

だんだんと道が険しくなっていく疲れ始めたときにふと、後ろを振り返ると普段見ることができない景色を見ることができて、登る力になりました。 藤井佐介

富士山八号目を目前にして頭が痛くなってきました。頭痛と息苦しさに倒れました。まさに高山病です。結果的に天候不順で登頂出来なかったのですが、とても楽しい経験になりました。 佐野雄太



お話ライブ

高森 智子

お話ライブをしよう

概要

近隣にあるコーヒーチェーン店で、月に1回お話ライブを行います。絵本を読み聞かせたりパネルシアターを演じたりすることを通して、それぞれの技能の向上を目指すとともに、子どもと楽しむお話会のあり方について考えます。

日にち	活動	内容
5/19 (土)	お話ライブ	近隣にあるコーヒーチェーン店で、子ども向けのお話ライブを実施しました。
7/21 (土)	夕涼み会劇場	池谷先生とコラボして、千葉明德短期大学附属幼稚園の夕涼み会で大型絵本の読み聞かせやパネルシアターをしました。
8/5 (日)	こわいはなし	学園祭で、怖い絵本の読み聞かせや素話をしました。
9/21 (金)	都内絵本専門店めぐり	クレヨンハウス (表参道) ・ブックハウスカフェ (神保町) に行き、それぞれのコンセプトをもった絵本専門店のあり方や、子どもが喜ぶ絵本・おもちゃ等について話しました。

<今後の予定>

お話ライブ：10/27 (土)、11/17 (土)、12/15 (土)、1/19 (土)

各日11:00から30分程度 / 見学・飛び入り参加 歓迎します！

学生の感想

今日やってみて、室内ではなかったのも、風が強かったこともあり、パネルが飛ばされてしまった事、パネルを準備する場所がなかった中でもスムーズに行くことを意識しました。聞いていた人もハンドルを持ったように手を前に出し、歌にのってくれたので、初めてのライブにしては上出来だったと思いました。

2年 Iさん

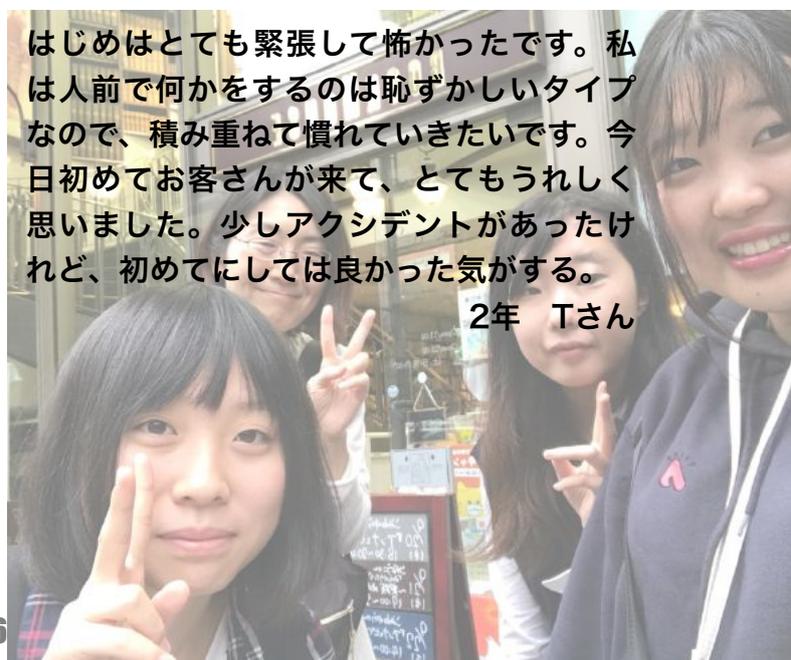
今日は初めてのお話ライブでした。紙芝居の時に順番がばらばらになってしまいましたが、Tさんがフォローしてくれたので無事に終わりました。紙芝居台が風で閉められてしまったのですが、お客さんが開けてく

れました。外で行う時アクシデントがあったので、次に外でお話ライブをする時は、今回の反省をふまえ、活かしていきたいです。

2年 Sさん

はじめはとても緊張して怖かったです。私は人前で何かをするのは恥ずかしいタイプなので、積み重ねて慣れていきたいです。今日初めてお客さんが来て、とてもうれしく思いました。少しアクシデントがあったけれど、初めてにしては良かった気がする。

2年 Tさん



ネパール 福中儀明 鶴田真二

Sense of Wonder in Nepal

概要

ネパール西部・ディリチョール村にある千葉明德学園の姉妹校「リナモッチェ・ハイスクール」で子どもたちに授業を行い、村人と交流します。この体験は、ネパールの教育や暮らしについて知るだけでなく、日本の教育や自身の暮らしについて見つめ直す機会となっています。

日にち	内容	宿泊地
9/8	成田空港集合 成田発 タイ・バンコク着	バンコク
9/9	バンコク発 ネパール・カトマンドゥ着 世界遺産見学	カトマンドゥ
9/10	カトマンドゥ発 ネパールガンジ着発 ジュムラ着 空港から徒歩でディリチョール村へ (約15km)	研修所
9/11	姉妹校にて授業 村人との交流	研修所
9/12	ティルク村訪問・登山 村人との交流	研修所
9/13	ジュムラ発 ネパールガンジ着発 カトマンドゥ着	カトマンドゥ
9/14	老人ホーム訪問 世界遺産見学 市内散策	カトマンドゥ
9/15	市内散策	カトマンドゥ
9/16	カトマンドゥ発 バンコク着発	機内
9/17	成田着 成田空港解散	

学生の学び・感想

皆で宿舎までの約15kmの道を歩きました。自然が豊かで美しく、ネパールの方々との触れ合いもあり、長いようであっという間に歩くことが出来ました。とても良い思い出となりました。 森田あゆみ

割り箸鉄砲を作ってあげると、競い合っ楽しんで遊んでいました。 前山純子



皆の思い出



<カンボジア>の思い出のアルバム

○HOME OF HOPEという施設では日本の弾きおにや王様ゲームをやりました。施設の子は日本に憧れを持っている子が多く日本のゲームをたくさん知っていました。
三上智穂

○ホテルの屋上バーです！景色が綺麗でとても楽しく明るいところでしたが、街に行くと物乞いをしている子が多くいて、貧富の差を感じました。
篠塚真由子

○これは2日目に行ったAi centerという小学校で撮った写真です。これは帰る直前に子供たちが僕にちょっかいをかけて僕が彼らを追いかける。するとみんな他の明德生の後ろに隠れて逃げ続けるという遊びです。
近野真暉

○カンボジアの子どもたちは皆元気で、何にでも興味を持ち、一生懸命でした。風船や折り紙、ボール、縄跳びなどを持って行くと、とても嬉しそうに笑ったり、お礼を言っていました。また、勉強熱心で、日本語の勉強をしている子が多く、教科書やノートを見せてもらいました。まだ書き途中のノートが、勉強しているのだということを強く証明していました。
秋葉麗奈

○本気で鬼ごっこをした女の子がとっても可愛くて、楽しかったです！
小松裕子

<スペイン>の思い出のアルバム

○挨拶はハグと頬を合わせることで、初対面でも同じように行ったり、キスも頬にするのは普通のことと体験した時にスペインを感じました。
飯田望友

○日本では車の駐車禁止場所があったりしますが、スペインでは街中の至る所で車の縦列駐車が見られたのが、驚きました。
川田朱里

○街の中に平たいエスカレーターがあってグローバルで感動しました。
尾林千春

○現地の保育園へ行きました。異年齢の交流が多く見られたり、開放的なのびのびした保育が行われていました。
山本遥

○夜の9時頃でまだ明るいことに驚きました。
渡邊美南

○『パタタス・コン・ウエボス・ロトス』という家庭料理は、生ハム、フライドポテト、半熟卵を混ぜて食べる料理でした。日本ではそれぞれを単品で食べていたので、混ぜることに驚きました。食卓には毎日ワインがあり、そちらも美味しかったです。
室井奈津美

明石 現 リサイタル お知らせ

melody

Gen Akashi Guitar Recital
明石 現 ギター・リサイタル



PROGRAM

想いの届く日 / C. ガルデル

「ブラジル民謡組曲」より / H. ヴィラ＝ロボス

・マズルカ＝ショーロ

・ワルツ＝ショーロ

・ガヴオット＝ショーロ

ギターのための組曲「ココンババ」op.19 / C. ドメニコニ

森に夢みる / A. バリオス

フリア・フロリダ / A. バリオス

さくらの主題による変奏曲 / 横尾幸弘

カーニヴァルの朝 / L. ボンファ・竹内永和編

11月のある日 / L. ブローウェル

2018年11月11日[日]

開場13:30 / 開演14:00

近江楽堂 東京オペラシティ3階

全席自由：一般 5,000円 学生 2,000円

障害者手帳をお持ちの方 2,000円

【チケット購入・お問い合わせ】

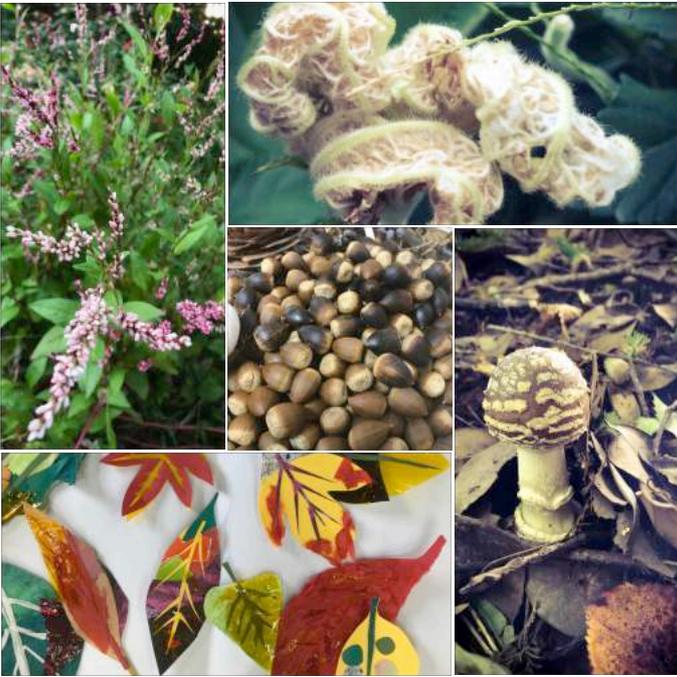
シュピーゲル・レコード



TEL：090-6113-6182

Email：musicwords10@gmail.com

URL：http://akashigen.web.fc2.com/



学事日程

11月

- ❖ 4日 (日) A0入試5期
- ❖ 16日 (金) 教育実習I (部分実習) 1年生
- ❖ 22日 (木) 保育実践研究会
- ❖ 23日 (金) 祝日授業・金曜日日課 1年生

12月

- ❖ 1日 (土) 保育実践研修会
- ❖ 7日 (金) 教育実習I 1年生
- ❖ 13日 (木) 保育実践研究会
- ❖ 15日 (土) A0入試6期
- ❖ 21日 (金) めいとくほうたう